**弁理士知財キャラバン　訪問申請書**

令和　　年　　月　　日

日本弁理士会　会長　清水 善廣　殿

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 申請者 | 住所 | 〒 | | | | |
|  | | | | |
| (フリガナ) |  | | | | |
| 名称 |  | | | | |
| (フリガナ) |  | | | | |
| 代表者氏名 |  | | | | |
|
| 代表者の役職名 |  | | | | |
|
| 創業 | 西暦　年　月 | 業種 |  | | 資本金 | 千円 |
| 業務内容 |  | |
| 設立 | 西暦　年　月 |
| 役員 | 人（代表者含む） | | 従業員 |  | | |
| 申請担当者 | 職名 |  | | | | |
| 氏名 |  | | | | |
| 電話 |  | | | | |
| 携帯電話 |  | | | | |
| ＦＡＸ |  | | | | |
| e-mail |  | | | | |
| ＨＰ |  | | | | |

なお、当社は、暴力団等の反社会的勢力に該当せず、今後においても反社会的勢力との関係を持つ意思がないことを確約します。また、反社会的勢力に該当し、もしくは暴力的な要求行為等に該当する行為をしたことが判明した場合には、弁理士知財キャラバンによる支援を中止されても異議申し立てを行いません。

<添付書類>

１．弁理士知財キャラバン訪問申請書

２．弁理士知財キャラバン訪問申請書　別紙

３．会社案内

４．決算報告書（直近3ヵ年分）もしくは事業計画書

**弁理士知財キャラバン　訪問申請書**

別紙１

１-１．貴社の業務や経営のどのようなところをどのように改善・発展させたいかについて、該当するものにチェックを入れてください。（複数選択可）

またその概要や特に相談したい点がある場合には、簡単にご記載ください。

１）独自技術防衛・保護（中小企業と大企業との共同開発などの際の自社技術の防衛）

２）棚卸保有特許評価（保有権利の棚卸しと評価）

３）知財リスクの可視化・対応策（知財リスク【権利侵害、技術流出、模倣品】の把握と対策）

４）知的財産の管理体制についてのアドバイス

５）国内外の知財戦略（特許、実用新案、意匠、商標の出願他）

６）新製品を事業化するための資金調達

７）新製品開発の方向性や販路開拓といったマーケティング活動

８）デザイン戦略について

９）その他

１-２．相談したい技術とその内容、関係者や関係企業との現状の関係性を簡単に記載してください。

２．今後の事業展開予定について簡単に記載してください。

３．知的財産権・弁理士等の活用状況（該当箇所にチェックを入れてください。）

別紙２

１）特許、実用新案、意匠、商標、著作権についての知識の有無（　有　・　無　）

　２）特許・実用新案・意匠・商標のいずれかの出願経験の有無　（　有　・　無　）

３）御社の業務における知的財産の活用の有無　　　　　　　　（　有　・　無　）

４）社内における知的財産教育の有無　　　　　　　　　　　　（　有　・　無　）

５）特許等の出願や知的財産について相談できる弁理士の有無　（　有　・　無　）

相談できる弁理士がいる場合には、その弁理士の氏名を記載してください。

　なお、支援弁理士を指名することはできません。

※氏名を記載頂いた弁理士には日本弁理士会から連絡をすることがあります。

４．弁理士知財キャラバンを何で知ったかご記載ください。

１）弁理士会ホームページ

２）弁理士知財キャラバンのチラシ　（受け取った場所を記載ください。）

３）紹介（紹介を受けた先を記載ください。）

４）その他

本支援の成果に係る情報・営業秘密については、当社の確認のもと、日本弁理士会の事業の発展等のために利用されることについて異論ありません。

　以上の内容について次の通りに署名し、本書面にて証明いたします。

企業名：

代表者氏名：

<訪問申請書　提出先・お問い合わせ先>

〒100-0013

東京都千代田区霞が関3-2-6

東京倶楽部ビルディング14階

日本弁理士会 第３事業部　経営・支援室

弁理士知財キャラバン担当宛

E-mail：caravan@jpaa.or.jp

以上